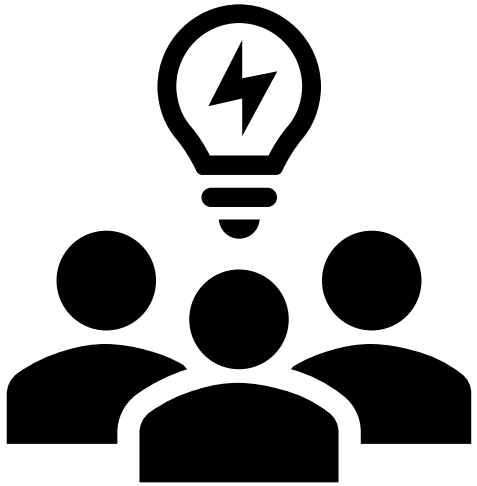
第６回 文部科学省ＩＢ教育推進コンソーシアム関係者協議会【作成：2019年12月13日】

IB教育に関する諸課題の解決に向けた活動計画案

IB教育に関する諸課題の解決に向けた活動計画案



【本日の議論について】

各分科会からの提案を踏まえたうえで諸課題へのアプローチに関する活動計画案を事務局として策定した。

これらの活動計画の有効性・妥当性およびコンソーシアム関係機関との連携等について構成員の皆様から様々なご意見をいただきたい。

国内における国際バカロレア推進

国際バカロレア認定校等を２００校以上（目標：２０２０年）

＊未来投資戦略２０１８（平成３０年６月閣議決定）

＊２０１９年１１月１１日時点　１５０校（残り５０校）

＜ＩＢ導入の４つの意義＞

①変化する社会に対応するグローバル人材の育成

＊課題発見・解決能力、 論理的思考力、コミュニケーション能力の育成など

②国際的通用性

＊ 高校卒業から海外大学にも直接入学する選択肢の拡大

③初等中等教育の質の向上

＊「全人教育」を通じた主体的学びを重視し、初等中等教育の好事例を形成

④国内外の優秀な人材の獲得

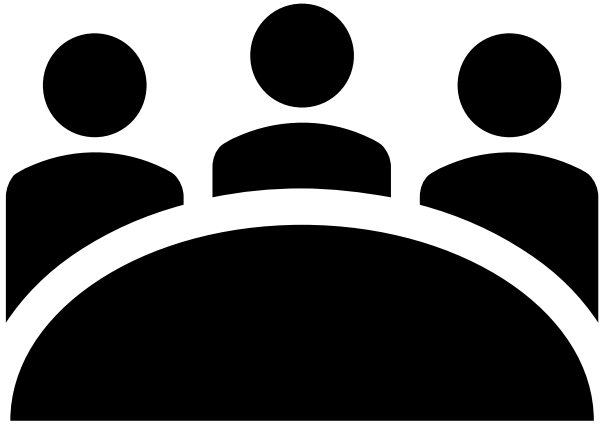
＊大学の活性化、教育内容・教育環境の国際化

①自治体へのIB導入への必要な支援

- 2020年までにIB認定校等を200校以上(残り５４校)を目指す上で、導入に関心のある自治体ならびに学校に対して検討材料となりうる十分なIB資料提供は欠かせない。

- 今後の効果的なIB啓発活動(ヒアリング訪問等)においても、自治体へIBに関する基礎資料等を提供していくことは、IB推進の費用対効果としても高いと考えられる。

- 各自治体が初等中等教育でのIB導入を検討することで、その実践が学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の好事例につながると期待できる。



①自治体へのIB導入への必要な支援

①ヒアリング訪問を含めたIB啓発活動の充実（対：都道府県ならびに市町村区教育委員会等）

―関心のある学校・自治体への継続的なヒアリング活動の実施（都道府県←DP　市町村区←PYP、MYP）

②IB導入好事例に関する集約と共有

（導入に関心のある学校・自治体向け基礎資料の充実／コンソーシアム通信の発行等）

―トピック：IB導入の意義・価値／導入までのプロセス事例／設置計画の策定（検討組織の設置、予算の確保等）

／地域理解の形成／グローバル人材育成事業との関連性の明確化（SSH、SGH、SGU等）

／IB修了生のキャリアパス情報　等

③学校・自治体向けのIB導入相談会の実施（年２回・オンライン参加可能）

―学校・自治体の関係者向けのIB導入に焦点を当てた相談会の実施（東日本・西日本での相談会を年２回実施）

①自治体へのIB導入への必要な支援

2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	12-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月

【学校・自治体へのヒアリング訪問・啓発セミナーの実施】
・IB導入に関心のある学校・都道府県教育委員会等へのヒアリング訪問
・各地域における地域啓発セミナーの実施

【IB教育啓発戦略】
・IB導入推進サポーターの制度設計

【IB導入の好事例の発信】
・IB導入推進サポーターの活動
・学校・自治体向けのIB導入相談会の実施（年２回・オンライン参加可能）
・コンソーシアム通信の発行（IB導入・実践の好事例の共有）
・IB推進シンポジウムの実施（年２回）

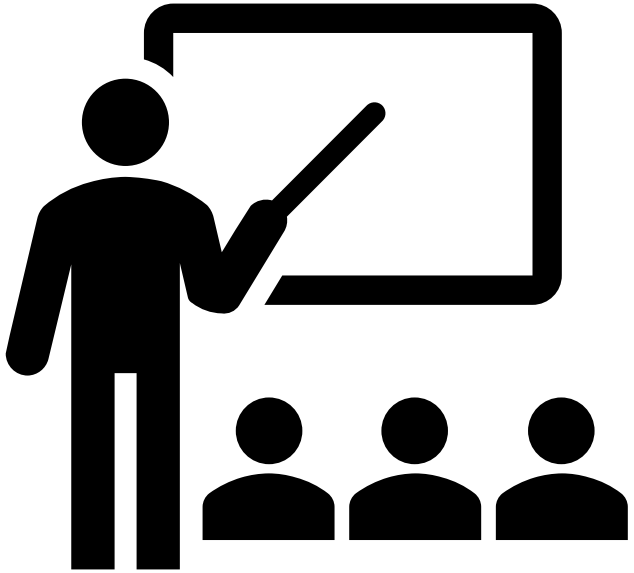
【IB基礎情報の集約】
・基礎資料の作成

【IB基礎情報の共有】
・基礎資料のリバイス（随時）
・コンソーシアムHPの充実（随時）

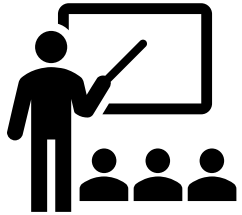
②IB教員養成における量的拡大と質的充実

・増加するIB校において求められる専門性を有する教員ニーズに対応する上で、力量のある教員養成が重要である。

・日本での充実したIBワークショップの実施や、各IB校での校内研修の促進、IB教育実習や視察の受け入れ促進等による教師側の力量形成につながる機会をコンソーシアムとして作り出していく必要がある。（コンソーシアム協力校・機関による連携促進）



②IB教員養成における量的拡大と質的充実



①教員養成課程を有する大学におけるIB教育に対する理解の促進（出張講義等の実施）

―教員養成課程に在籍する学生へのIB教育への理解の促進

②IBの考え方（教科横断的なアプローチ等）に関する研修会の推進（コンソーシアム協力校・機関による活動）

―コンソーシアム教育関係者間におけるカリキュラム・科目等の研修会の推進（情報の集約と発信）

―国内のIB認定校・候補校・関心校におけるIB教育に関する公開授業研究会等の推進

③国内のIB公式ワークショップの開催充実（IB機構との連携）

―バイリンガルIBENメンバーによる国内の公式ワークショップの開催促進

②IB教員養成における量的拡大と質的充実

2019年度	2020年度		2021年度		2022年度	
12-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月

【大学の教員養成】
教員養成を有する大学へのコンタクト

各大学における
IB教育啓発の出張講義の実施

活動成果の検証
アプローチの確認

各大学における
IB教育啓発の出張講義の実施

【教員研修に関する調査】
各学校におけるIBに関する内部研修
・授業研究会等の実態調査

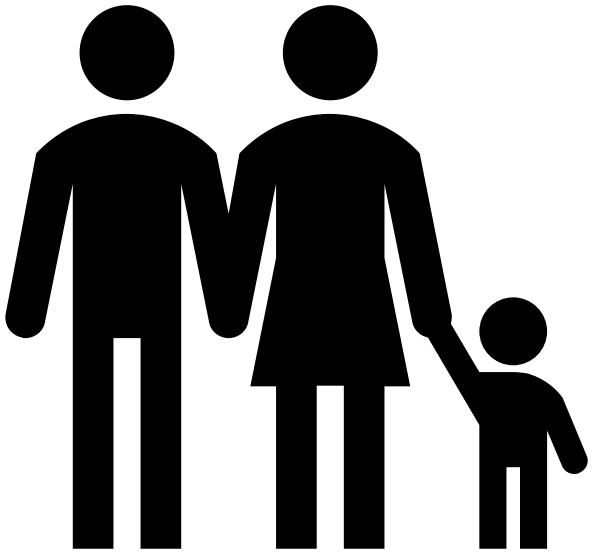
【自発的な研修会の推進と充実】
IBの考え方に関する研修会ならびに公開授業研究会の推進
（於：コンソーシアム協力校・機関）

【IB公式ワークショップについて】
各地域におけるIB公式ワークショップの開催要請・IBENメンバー養成等

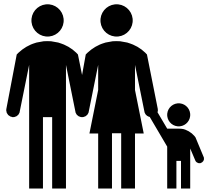
③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供

- IB教育を享受する生徒やその保護者に対するIB理解啓発活動を通じて国内全体のIB教育の認知度を高める必要がある。

- 様々な進路選択の中の1つとして、IB教育を選ぶことができる環境を整備し、さらにIB修了生の進路に関する情報も周知していくことが重要である。



③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供



①生徒・保護者向けのIB教育の基礎情報の発信

ーコンソーシアムHPやAirCampus等を通じたIB基礎情報（FAQ等）の発信

②生徒・保護者向けの IB 啓発セミナーの実施

ー国内における学校相談会・進路相談会等へのセミナーへの参画

（例：民間教育機関等との連携）

③IBスコアを活用した国内・海外大学への進学情報

ー入試情報や奨学金情報等の情報発信

②IB教員養成における質的拡大と量的充実

2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	12-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月

生徒・保護者向けのIB教育の基礎情報の発信
（HP上の基礎情報の充実）

【国内進路相談会の調査】
関係機関への
アプローチ

生徒・保護者向け啓発
イベントへの参画
（民間教育機関との連携）

【国内進路相談会の調査】
関係機関への
アプローチ

生徒・保護者向け啓発
イベントへの参画
（民間教育機関との連携）

【国内進路相談会の調査】
関係機関への
アプローチ

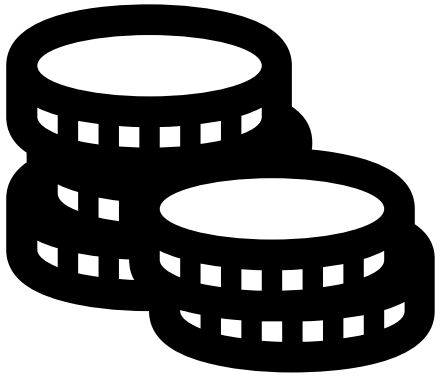
生徒・保護者向け啓発
イベントへの参画
（民間教育機関との連携）

【進路指導に関する情報集約】
IB進路指導に関する事例・
基礎情報の集約（IBスコアを活用した大学入試に関する調査等）

IB進路指導担当者向けの国内・海外進学に関する情報発信

④IB生に対する財政支援について

- IB教育が経済的に裕福な家庭のみが享受できるものとしてはいけない。相対的貧困の家庭の子供も含めて、希望するすべての児童生徒がIB教育を受けられる環境を整えていくことが重要である。



④IB生に対する財政支援について

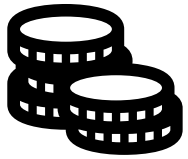
〇既存の国内奨学金支援団体との連携の検討

国内の既存の奨学金団体にIB生を対象にした就学支援プログラムの設置を要請する。

〇IB生の負担軽減の検討（公的な支援が困難なものを含む）

対象例：最終試験の科目毎の試験料　／　PC やグラフ電卓などの必須な器具備品

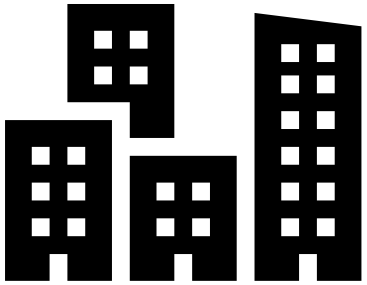
IB の活動に係る授業料以外の教育費（個人負担となる学校活動費など）／ IB コースに係る追加の授業料　等

2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	12-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
	既存の国内奨学金支援団体との連携の検討（団体へのアプローチ活動）		IB生の負担軽減のための支援スキームの確立				

⑤企業家の視点からグローバル人材の必要性

- グローバル人材の好事例としてIB修了生が産業界においてどのように活躍しているのかを取り上げたうえで、IB教育を通じて養われる資質や能力をエビデンスをもとに多角的に検証していく必要がある。

- Society5.0を想定した社会における人材輩出において、IB教育がどのような役割を果たすのかについて、IB修了生の追跡調査していくことで明らかにすることが望ましい。



⑤企業視点からのグローバル人材の必要性

①IB修了生とグローバル人材の資質能力に関する多角的な検証・エビデンスの収集

例：グローバル人材育成に関した先行研究に関する調査

国内企業を対象にしたグローバル人材の資質能力に関するアンケート調査の実施

②活躍するIB修了生のグローバルなキャリアパス事例の共有

シンポジウム・セミナー等でのIB修了生のキャリパス事例の発信

2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	12-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
	先行研究調査（グローバル人材の資質能力に関して）	検証のデザイン策定	国内企業を対象としアンケート調査の実施	調査内容の分析・エビデンス活用（IBシンポジウム・セミナー等での活用）			
	シンポジウム・セミナー等でのキャリアパス事例共有（IBを修了した大学生・社会人）						